

壮年部特別規則

1. 日本在住者で、本年度4月1日現在で満40歳以上の者。
2. 40歳未満の監督は認められるが、選手として出場はできない。
3. 壮年部に出場する監督・コーチ・選手またはチームは、同大会の一般部（A・B・C）に出場することはできない。
4. 試合は、7回戦または時間制として試合開始後1時間45分を経過した場合は新しいイニングに入らないこととする。
5. 正式試合は5回を終了すれば成立する。ただし、5回以前でも規定時間に達したならば試合は成立する。
6. 準決勝・決勝は時間制を適用しない。ただし、グラウンド状況、天候等により時間制を設ける場合もある。
7. 延長戦は行わず、7回終了または制限時間を過ぎて同点の場合は、タイブレーク方式を行う。
無死一・二塁、継続打順で最大3イニングまで行うが、なおも、勝敗が決しない場合は抽選を行う。
なお、準決勝・決勝は勝敗が決するまで行う。
8. 得点差によるコールドゲームを全ての試合に適用する。5回以降7点差。
9. 時間制の解釈について
 - (1) 試合時間は、大会本部または当該審判員が管理し、試合開始時間を通告する。
 - (2) 試合が制限時間に達した時は、審判員がそのことを両チームに通告する。

【ケース1】

チーム	1	2	3	4	5	6	7			計
A	0	0	2	0	3	1				6
B	0	0	0	0	2					2

- ・ Aがリードの6回表に1時間45分が経過した場合
⇒ 6回を7回と置き換えて、6回裏の攻撃まで行う。

【ケース2】

チーム	1	2	3	4	5	6	7			計
A	0	0	2	0	0	1				3
B	0	0	2	0	2					4

- ・ Bがリードの6回裏のB攻撃中に1時間45分が経過した場合
⇒ 1時間45分を超えた時点で試合終了となる。審判員はその時の打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この打者が打撃を完了して試合終了とする。

※上記以外の大会規則等については、一般の大会注意事項を適用する。